

# 第31回 つくば人間学講座

毎回入場無料

日時 平成13年5月19日（土）午後2時から4時

場所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
（つくば市吾妻1-10-1つくばセンタービル2階）

テーマ “おしゃれのプロの極意をいただき!!” ちょっとおしゃれをしてみませんか？  
「21世紀・おしゃれで自分創り」

講師 ファッションアドバイザー（元ファッションモデル）  
ヘレン・ヒギンス 氏

暖冬との予報に反し、今冬は寒い寒い冬でした。そして桜が満開になった途端思いがけない雪！それに加えて日本列島地震の頻発、火山の噴火、自然界も異変続きます。さらに政治経済界は相も変わらない混迷状態。このような中で21世紀はスタートしました。決して先行き明るいわけではありませんが、今季節は春、思い切って「おしゃれで気分転換」はどうですか！「上手なおしゃれをしたい」これは誰もが抱く願いです。上手なおしゃれは人の心を浮き立たせ元気にします。人を心身共に変身させます。

講師のヘレン・ヒギンスさんは一世を風靡した往年のトップファッションモデルでいらっしゃいました。その後も長い間テレビ等を中心にファッションアドバイザーとして活躍なさった方です。ヘレンさんから「プロのおしゃれの極意」を教えていただいて、21世紀の春だからこそその「自分創り」をしてみたいはいかがでしょうか！しかも、手持ちの小物・アクセサリを活かしてお金をかけないで…！

こんな時どうしたらいいの？ このスカーフ、アクセサリを活かす方法は？ Etc.

講師への質問 勿論OK！

“ちょっとおしゃれに変身” はいかがでしょうか？

主催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-57-9029)

＊ ＊ お 知 ら せ ＊ ＊

駐車場は中央第1～4、南1～4駐車場（有料）をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第32回 つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成13年7月14日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
（つくば市吾妻 つくばセンタービル内）

テ ー マ “おやじ狩り、浮浪者狩り——衝動殺人・エスカレートする少年非行”  
「いい子」の非行

講 師 水戸家庭裁判所土浦支部総括調査官／中央教育審議会専門委員  
佐々木 光 郎 氏

過日、電車の中で「席を詰めてください」と声をかけた青年が、たまたま視線が合った少年たちに暴行を受け死亡するという痛ましい事件がありました。ここ10年位、少年非行の様相が大きく変貌しつつあるようです。少年非行の悪質化、低年齢化は勿論ですが、更に大人達の理解を越える非行形態の変化が顕れてきています。

近所の大人達の評判も良い。学校の成績もまあまあ良い。部活にも参加している。まったく非行歴のない、大人の目から見たら「いい子」が思いもかけない非行の主役になっているのです。親から見れば、「うちの子にかぎって・・・どうして？」教師からみれば「まさか、あの生徒が・・・」と絶句するような「良い子」が非行に走り、大人をうるたえさせています。

何故なのでしょう？・・・私たちには理解できません。そこで、長い間子供達の非行事件を現場で扱っていらっしやる講師のお話をお聞きして少年非行の現状をさぐってみませんか？ 勿論質問OKです。

\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご参加下さい \*

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-57-9029)

**\* \* お 知 ら せ \* \***

駐車場は中央第1～4、南1～4駐車場（有料）をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第33回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成13年9月8日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)

テーマ “野菜にも心があるのかな?” “目からウロコが落ちました!”  
「本当の話 - 大根だって恋をする」

講 師 元筑波大学教授

生 井 兵 治 氏

昨今、日本中のスーパーやデパートの野菜売場に並んでいるトマトやキュウリ・ピーマン達はサイズも揃い、形の良いものばかりです。その美しさは世界一と言えるかも知れません。その上多くの種類の野菜が年中いつでも食べたい時に私たちは買えるようになりました。

戦後50年余、生活の豊かさ、便利さを求めた科学の目覚ましい発展の結果の一つだと思います。そして多くの野菜は今日では自然とは関係なく、人工的なハウスの中で、土も使わず、温度・湿度・肥料・光線等もコンピューター制御で管理栽培されることも現実になっているようです。まさに野菜の工場生産です。反面、季節感は失われ、まるで人間は自然から離れて、野菜達を自由に創れると錯覚してしまっていないでしょうか。ところが野菜達は人間の手をうまくかわしていく「生命力」「意志」とも思える力を秘めているようです。『大根だって恋をする』のだそうです。

私達の知らない気づかない「野菜の恋の物語」を育種学の生井先生の楽しいお話を通し垣間見てみようではありませんか! 大根はどのように恋をするのでしょうか? 大根が今までと違って見えるかも知れませんね。乞う、御期待!! お話の後たっぷり質問の時間もとります!!

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご参加下さい \***

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-57-9029)

**\*\* お 知 ら せ \*\***

駐車場は中央第1~4, 南1~4駐車場(有料)をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第34回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成13年11月10日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)

テーマ 「音楽創りのもう一人の指揮者  
- レコーディングプロデューサー -

講 師 レコーディングプロデューサー/東京芸術大学大学院講師  
井 坂 紘 氏

(草津音楽祭事務局長・元つくば国際音楽祭プロデューサー)

私たちは、音楽を楽しむ方法としてまず第一に考えるのは、コンサートへ出かけて“生演奏”を聞くこと……かもしれません。しかし、日常をかえり見たときどうでしょうか？ レコード・CD等録音された音楽の再生を聞いて楽しむ事の方が圧倒的に多いのが実状です。

戦前は、コンサートは勿論、レコード音楽ですら自分の家で聞くことのできるのは裕福なごく限られた人々でした。しかし、戦後年を経るに従い、日本人の生活は豊かになりコンサートに行くにしてもCD等で音楽を楽しむことも庶民のごく当たり前のことになっています。特に録音技術の著しい進歩はレコードから更により美しい音を再生するCDへと推移してきています。換言すれば録音による再生音楽の楽しみ方が、まさに「20世紀が産んだ音楽文化」とも言えるのではないのでしょうか。そして私達は、こともなげに「このCDは音が良い」「このCDの音はイマイチ」などと批評すらします。私達が気づかぬままその恩恵を受け、生活を潤してきた「録音」とはどの様に行われているのでしょうか？

さらに、知識のある人は「レコーディングを生かすも殺すもプロデューサー次第」ともいいます。とすると、レコーディングプロデューサーは「20世紀が産んだ2人目の音楽指揮者」ではないでしょうか！

「録音プロデューサー」として30余年の実績を持ち「音づくりの現場にこの人あり」といわれている井坂氏にプロデューサーとしての「生のお話」を聞きたいというリクエストが複数寄せられ、今回本講座を開講することになりました。

当日は、オーディオを使いレコーディングによる音の違いを会場で聞きながら井坂氏のお話をお聞きしたいと予定しています。

音楽ファンの方々、録音に興味をお持ちの方々、どうぞご期待下さい。

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご参加下さい \***

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-57-9029)

**\*\* お知らせ \*\***

駐車場は中央第1~4, 南1~4駐車場(有料)をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第35回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成14年2月9日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
（つくば市吾妻 つくばセンタービル内）

テーマ 誤報は個人の人生を狂わせます！ 国の運命も左右します！  
「マスコミは真実を報道しているか？」

講 師 元朝日新聞記者（元フェリス女学院大教授）

後<sup>ご</sup>藤<sup>とう</sup>文<sup>ふみ</sup>康<sup>やす</sup>氏

先の見えない不況に大きな不安を抱き、怯えながらの21世紀の幕開きでした。それに拍車をかけるように、これでもか！これでもか！とマスコミは日本がもう立ち直れないような暗い報道をし続けております。たしかに、失業率も過去最高。企業倒産、個人のローン破産も増加しています。家庭のように社員を大切にしていた企業でさえリストラを始めました。

しかし、日本の個人貯蓄額は世界でナンバーワンです。個人の家庭には物が溢れ、生活の質も向上しているのも事実です。物価の下落について政府はデフレと言いますが、庶民から見れば世界一高かった日本の物価が段々「当たり前」に近づいてきていると言えるように思えるのです。

一体何が真実なのでしょう？

どうして、日本はこうなってしまったのでしょうか？

どうしたら「今」から脱出出来るのでしょうか？

私達は、めまぐるしく変わる世相から身を守るためにも正しい情報が欲しい、そして今情報を得られるのは大部分マスコミからということになります。

しかし、マスコミの報道に対して私達は一抹の不安を抱いています。松本サリン事件の第1通報者で被害者の河野さんが誤報で犯人に仕立て上げられた例もあります。また、昨年9月11日のニューヨークテロ事件以後の経験からリアルタイムで現実の「現象」を報道されると、その印象の強烈さが人々の理性を麻痺させてしまうという「恐ろしさ」を知りました。

マスコミは、人々に真実の情報を提供し、正しい判断が出来るよう、報道について重い責任を負っているはずですが、現実はどうなのでしょう？

誤報、偏った報道は人間の判断を狂わせ個人を傷つける場合もあるし、国の方針すら誤らせることもあるのではないのでしょうか？

講師の長い記者生活のご経験とその後の客観的なマスコミ分析のご研究を踏まえてのお話を拝聴しましょう。そして、皆さんもディスカッションに参加しませんか！

講演後、Q&Aの時間をたっぷりとりまします。

皆さんのご参加をお待ちしています。

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご参加下さい \***

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係（TEL：0298-57-9029）

**\*\* お知らせ \*\***

駐車場は中央第1～4、南1～4駐車場（有料）をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第36回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成14年5月18日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
（つくば市吾妻 つくばセンタービル内）

テ ー マ 1300年前 つくばは自前の文化を持っていた！ これからのつくば文化は？  
「つくば今昔物語」パートⅠ

講 師 元つくば市教育長

井 坂 敦 實 氏

平成17年、日本で最後の鉄道事業になるかも知れないと言われている「つくばエクスプレス」が、つくばと秋葉原間に開通する予定です。30余年前、人工のまち・科学のまちとして創られた「つくば」は、今では未来に夢を描ける日本で唯一のまちとも言えます。

さて、このように人工のまち・科学のまちとして海外にまでその名を馳せている「つくば」の大昔はどんなところだったのでしょうか？ つくばが「筑波」であった頃のことは常陸風土記や万葉集等により、1300年位前から独自の文化習俗を有していた地域であったことは、私達もおぼろ気ながら知っています。しかし、正確な知識を持っている住人はごく少ないと思われまます。更に江戸時代、筑波山神社は江戸城の鬼門封じの役割を負い、厚く遇されていたとも聞きます。また、戦前までは筑波山は関東一円の庶民の信仰の対象でもあったのです。

そこで、つくばの郷土史に造詣の深い講師の井坂敦實氏から、昔のつくば＝筑波の歴史・文化についてのお話をお聞きし、「温故知新」。昔を知ることがよりよい「今のつくば」を創る上でも、必要なことではないかと考えました。いかがでしょうか？

1300年前の「筑波」を知り、今の「つくば」が今後どうなっていくのか？ 興味深いものがありそうです。講演後のご質問・ご意見、大いに歓迎です！

お気軽にご来場ください。

\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい \*

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会

事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-36-1111 内線5142)

\*\* お 知 ら せ \*\*

駐車場は中央第1～4、南1～4駐車場（有料）をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第37回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成14年7月20日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)

テーマ 1300年前 筑波の自前の文化の中身は何か?  
「つくば今昔物語」パート2

講 師 前 つくば市教育長

井 坂 敦 實 氏



過日、竹中大臣が「日本経済は底入れをした」と発表した途端、ムーディーズ社が日本の国債の格下げをガタガタとしました。発展途上国並み由。財務大臣が憤って「日本の国力を知らない」と文書で抗議したとか・・・一体どうなっているのでしょうか?

どこか(世界)でグローバルな情報操作がされていて、日本はそれに乗せられ、為す術もなく振り回されているのではと疑いたくなってしまう。

そして、日本人が息をひそめて暮らしていたら、サッカーワールドカップ大会で日本代表が活躍し、久しぶりに日本中が湧きました。列島を熱風が吹き抜けました。そのサッカーのメッカが筑波大学の体育学系にあります。余り知られていない事実です。チョッピリ嬉しい話です。科学の他に日本のスポーツの中心もつくばにはあるのです。

また、遡れば常陸風土記や万葉集の防人のうたや東歌、そして歌垣。また、小倉百人一首にはかの有名な「つくばねの嶺より落つるみな川の川・・・」と歌った一首もあります。さらに、筑波山とその周辺には沢山の文化財が埋もれています。

今回は、筑波であった昔の歴史と文学にスポットを当ててお話をさせて頂きます。

サッカーワールドカップ大会の熱気の余韻を感じながら、1300年前の文化を知ることも興味深いことではないでしょうか?

ご質問、ご意見大歓迎!! ご参加をお待ちしています。

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい \***

主催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-36-1111 内線5142)

**\*\* お知らせ \*\***

駐車場は中央第1~4, 南1~4駐車場(有料)をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第38回つくば人間学講座

毎回入場無料

日時 平成14年9月23日（月）午後2時から4時

場所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
（つくば市吾妻 つくばセンタービル内）

テーマ 「野菜をたくさん食べることは健康の第一歩！」

「あなたの野菜知識は正しいですか？」

## 「今時 野菜事情」

講師 千葉大学教授

しの はら ゆたか  
篠原 温 先生

戦後57年—日本人の食生活は紆余曲折は経ましたが、健康維持のために多種類の野菜を沢山とることが大切であると再認識されるようになってきました。

今では、デパートやスーパーの野菜売り場にはかつては見たこともなかったような野菜をはじめ、豊富な種類の野菜が季節を問わずカラフルに並んでいます。どの野菜も姿・型・色艶も美しい器量良しばかりです。これらの多くの野菜たちは、野菜栽培の専門家（すべて農家を考えてよいかわかりませんが）の手で大量生産されていると思われます。どのような方法で生産されているのでしょうか？

昔は季節によって顔を見せる野菜は決まっていた。それぞれの野菜に『旬』がありましたし、地域性もありました。しかし今ではほとんどの野菜が日本全国どこでも見ることができます。このような現実の中でより健康的に、有効に、それぞれの野菜の栄養分を上手に、毎日の食生活に活用したいと私たちは考えています。

そこで、『現代の野菜事情』の実態を確実に知り上手に野菜達とつきあいたいと思うのです。「今時 野菜栽培事情」の第一線で研究をしていらっしゃる講師から「旬」のなくなってしまった野菜達の栄養価値も含め種々お話をお聞きしたいと本講座を企画いたしました。Q&Aの時間もとります。沢山の方のご参加をお待ちいたします！！

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい \***

主催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-36-1111 内線5142)

\*\* お知らせ \*\*

駐車場は中央第1～4、南1～4駐車場（有料）をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。



# 第39回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成14年11月2日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
（つくば市吾妻 つくばセンタービル内）

テーマ “日本はまぼろしの経済大国ですか？”

“日本経済の実力は？”

**「真実が知りたい！日本の経済」**

講 師 法政大学経営学部教授・筑波大学非常勤講師

まつ しま しげる  
**松 島 茂 先生**



「今の大学生は物心ついて以来、バブルがはじけ、日本経済が日に日に悪化しつつある中で育っている。だから自分たちの将来について夢や希望を持っていない。持てない状態にいる」とある大学教授がおっしゃいました。

長引く経済不況が国民生活に与えている影響の大きさに愕然とし、背筋の凍る想いがします。かつてアメリカに次ぐ世界第二位の経済大国と自他ともに認めていた日本は幻だったのでしょか。相次ぐ大企業の信じられないような不正の隠蔽工作、株安、世界中から不良債権の迅速な処理を迫られている銀行群……。毎日これでもか、これでもかと追い打ちをかけるように重苦しいニュースが流れる中で、私たちは生活しています。また夫々の家庭には物が溢れているけれど、人々の心は例えようもなく貧しい……。不正表示に対する返金事件の際の「金の二オイ」に群がるよう集まってきた、実際には返金請求の資格のない若者達の姿は日本人の「心の貧しさ」を象徴しているように私たちには見えました。

日本経済はどうなってしまったのでしょうか？

大丈夫なのでしょうか？

一方、大臣達は途上国を訪問すると、気前よく経済援助を約束してきています。何が日本経済の実状なのでしょうか……。私たちは明るい日々を近い将来望めるのでしょうか……。講師のお話をお聞きし、共に考えてみませんか！

講演後の質問大歓迎です！

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい \***

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会  
事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-36-1111 内線5142)

\* \* お知らせ \* \*

駐車場は中央第1～4、南1～4駐車場（有料）をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

# 第40回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成15年2月8日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター大会議室  
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)

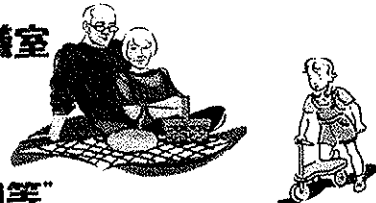
テーマ 御存知ですか? “夫と妻はゼロ親等”

“親と子供は一親等”

「21世紀・夫婦が変わる。親子が変わる。」

講 師 水戸家庭裁判所土浦支部総括調査官

野 村 二 郎 先生



戦後58年、民主主義教育のもと日本の女性の意識は大きく変化し、女性たちは「男女は平等である」ことが当然と考えています。一方男性たちは2000年来男性優位の社会構造の中で生まれ育ち、女性の意識の変貌になかなか気づきませんでした。そして女性社会進出と共に共稼ぎ家庭が増加していますが「働いている妻」に対して家に帰ると従来型の妻の役割・イメージを求めてしまう男性が多いのが現実です。結婚しないワーキングウイメンの増加はそれを反映しています。このような現実は少子化現象をも助長しています。更に仕事を続け、婚姻前の継続性を保つため、内縁関係を積極的に選択する男女も沢山できています。

今「夫と妻の在り様」「夫婦のかかわり方」をどのようにするのがよいのか?しかも夫婦は社会の基本的単位でもあります。どのようにこれから変わったらよいのでしょうか?そして親子の関係はどうなるのでしょうか?20年間、家裁の調査官として「ナマ」の夫婦・親子の関係を扱っていらつしやった講師のお話をお聞きして、改めて自分たち自身をも見直し、よりよく生きるためにも「夫と妻のかかわり方」「親子の在り様」を考えてみませんか!すでに、高齢化社会の到来・少子化現象の中に、今私達はいます。

ご質問・提言・etc... 大歓迎です。

**\* 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい \***

主 催 つくば市・つくば人間学講座実行委員会

事務局 つくば市 市民活動課 生活文化係 (TEL: 0298-36-1111 内線5142)

\*\* お知らせ \*\*

駐車場は中央第1~4, 南1~4駐車場(有料)をご利用下さい。  
土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。